
東方幻風録

霊天玖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方幻風録

【Nコード】

N3948Y

【作者名】

霊天玖

【あらすじ】

咲夜を失った紅魔館……

人間ではない風也達……

あれから長年が過ぎ風也の居る幻想郷にはあの時の霊夢達はこの世に居なかった……

そして決断する。新たな次元へ行く事を

そして別の次元の人間界で、幻想郷に運ばれる一つの魂……
どんな外史が語られるのか

この小説は第1部の「東方幻想録」をあらかじめ読まないといけないと思いますのでまずそちらから読む事を推奨します。

第1話 人間界へ（前書き）

あれから百数年……長い時を掛け月夜に自分の力と同じ事を教えていた。そして自分と同じ過ちを繰り返さない様に……

第1話 人間界へ

風也と月夜は紅魔館の中庭で修練をこなしていた……風也の全身が変化しているのは良くある事だが今回は月夜のメイド服が黒く変色していたのだ。各部には黒い鋼の装甲が……

「月夜、もう良いだろう。魔装を解け」

「はい……」

「やっと俺と同じ力を手に入れたな………ただお前の力なら大丈夫だ。この力が暴走するのはドス黒い殺意の塊だ……お前の力は澄んでいて穏やかな力だ、暴走は無いさ」

風也と月夜は向き合い話していた……

「この力をお嬢様を護る為に使えという訳ですか？」

「ああ、その力でレミリアを護ってやれ。俺はこの幻想郷を離れようと思う。」

「っ！？父上！？どういう事ですか！？」

「実質、お前の力の方が安全性が高く性能的には俺より上だ。だから安心して任せられるんだ」

「父上……」

「もうお喋りはお終いだ………またな……」

風也の回りには魔法陣が出現する……風也の体は徐々に粒子と化す……月夜の目には一筋の涙が流れていた……

「月夜、心を強く持て。護りたい人を思え、そうすればお前の力は数倍にも跳ね上がる。その可能性を信じろ……良いな……」

「はい……父上……」

そして風也は完全な粒子となり幻想郷から姿を消した……レミリアを月夜に任せ……

すると後ろからパチュリーが現れた。

「月夜、風也は行ったのね」

「はい、パチュリー様……」

「あの人は別の時空へ飛んだ……私達魔法使いでも数千年は研究しないと出来ない行為なのよ……」

「分かっています。父上が自分から死を選ぶ事は無いので……」

そしてパチュリーと月夜は紅魔館の中へ入って行った……

……別時空の人間界……

真夜中の廃ビルに風也が現れる……黒いコートに黒いブーツ、サングラスを付け都会を歩いていた……

外見的にはバイオ ザードのタイ ントとしか見えなかったがツツ
コむのも野暮であろう。

ゴツゴツ……

「都会か………若い頃には行った事は無かったな………」

裏路地を歩いていると若い不良がぶつかってきた……

「おいごるあ！いつてえだろ！殺すぞ！」

「………」

風也は沈黙を続けていた………それに不良はキレた……

「てめえ金置いてけや！さもないと刺すぞごらあ！」

「やれるものならな………」

「余裕かましやがって！死ねやあ！」

不良はナイフを風也の腹部に刺そうとしたが容易くナイフを止めら
れていた………

「挑む相手が悪かったな！」

風也はナイフを刃を握って不良ごとゴミ捨て場に投げ飛ばしゴミに
激突させた………

「ぐほっ……」

「全く、こういうのを社会のゴミって言うんだろっなあ……」

そして不良を放置し表通りを歩いていった……

「取り敢えずこの時空の幻想郷に行くのも良いが人間界を満喫するか……」

そして風也は実に数百年ぶりに人間界で過ごす事になったのだ……

…

第1話 人間界へ（後書き）

東方幻風録第1話開始でございます。新たな主人公も次から出る予定です。これからも東方幻想録をよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3948y/>

東方幻風録

2011年11月10日12時02分発行